

既存試料・情報提供機関：広島大学

研究課題名	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究 Close The Gap-Stroke J-ASPECT Study
研究実施者	国立循環器病研究センター 飯原 弘二
研究期間	研究許可日 ~ 2026年 3月
対象者	2013年1月1日~2020年3月31日の間に、広島大学病院脳神経外科で脳卒中または脳卒中に関連した治療を受けられた患者。
意義・目的	脳卒中を含む循環器病の医療の質を包括的に評価する臨床指標を策定するため。
方法	診療情報上の主傷病名、入院契機傷病名、もしくは診療報酬明細書上の傷病名、年齢、性別、入院日、既往歴、脳卒中に関連した診療行為及び時間経過、予後などの診療情報を使用します。本研究の研究内容、参加施設名、患者さん向けの資料などにつきましては、研究班ホームページ（J-ASPECT Study、 https://j-aspect.jp ）にて随時公開しております。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
研究機関	国立循環器病研究センター、九州大学病院 脳神経外科、健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）
試料・情報の管理責任者	国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二 九州大学病院 脳神経外科 准教授 溝口昌弘 健康保険医療情報総合研究所（PRRISM） 代表取締役社長 山口治紀
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
本学の試料・情報提供責任者	広島大学病院 脳神経外科 助教 岡崎貴仁
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5569 広島大学病院運営支援部経営企画グループ 桑田 隆洋